

藤棚新聞



第39号
発行
2014年(平成26年)
12月20日

本の世界を自由に散歩

稲荷台小学校長 平井 佳江



今年度より稲荷台小学校の学校長として着任いたしました、平井佳江(ひらいよしえ)です。伝統ある稲荷台小学校の気風を受け継ぎ、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様のために精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

突然ですが、皆様は本をよく読みますか?最近では電子書籍も充実していて、通勤電車の中では、タブレットで本を読む人の姿も多く目にします。仕事上、必要に迫られて読むことも多いのですが、なんととっても読書の楽しみは、本に登場する人物の生き様を追体験することでしょう。本の中

の世界を散歩するときは、自由気ままに楽しむのが一番です。

小学校の国語の授業も、教科書に掲載されている教材文だけをじっくりと読む時代から、同じ作者の本や同じテーマの本を比べて読むようになっていきます。多くの作品にふれて自分のお気に入りを見つけることが、本好きな子どもを育てる上では大切です。

稲荷台小学校の学校図書館には、教職員のおすすめの本を展示しています。本をきっかけに子どもも大人も感じたことを語り合い、新たな面白さを見つけられたら素敵です。

横浜市では、平成25年度から4年間で、すべての市立小・中・特別支援学校に学校司書が配置されます。温かく子どもを見守り、本の世界の素晴らしさを伝える学校司書の活躍に期待しています。



気になるお店シリーズ

一 献



お忙しい中をお願いして取材をさせていただきました。お店は西前中央商店街の真ん中ほどにあり、赤い提灯が店の前にぶら下がっていて素敵な目印になっています。

日中はみそカツ弁当などの肉を中心とした弁当を3種類作って店頭で販売し、午後からは店をいったん閉めて買い出し、仕込みを行い夕方6時に開店し、お酒と食事の営業が始まります。ご主人は以前にも東京で飲食店を経営していましたが思うようにいかず、トラックの運転手をやりながら頑張った結果、再びお店を開業することがで

きました。西区に住んでいますので地域の様子はわかっていましたし、知人の紹介もあってスムーズに進んだそうです。

店内はテーブル3台、カウンター、そして奥座敷にテーブル2台があります。串揚げはエビ、イワシ、野菜等を100円前後でいただけます。一品料理は10種類、生ビール一杯380円はお得です。皆さん、ぜひ一度足を運んでみませんか。浦霞で一献傾けましょう。

問い合わせ：321-2601 (F)

区制70周年 西区が生まれたその時



西区が生まれたその時、町や学校はどんな様子だったのでしょうか。横浜西区郷土史研究会長の田村泰治さんにお話を伺いました。



昭和18年ころの運動会。窓ガラスには、空襲によるガラスの飛散を防ぐために×印の紙テープが貼られています。
(「にしまえ」西前小学校創立100周年記念副読本より)

「1944(昭和19)年4月1日、西区は中区から9番目の区として分離独立しました。

西区域を独立させたいという動きは昭和8年頃からありました。当時は区と警察署の二重行政システムで、人々は不便さを感じていたのです。昭和18年12月1日、中区から『南区』が独立したのを契機に分区運動が高まり、翌昭和19年2月15日の予算市議会で西区が誕生しました。

しかし、戦時体制下の生活は物資不足、働き手は軍隊に徴用されて人手不足、役所も郵便局もすべて町内会単位で行政の業務を分担していました。生活必需品は配給制で、これも町内会で担当しました。行政区を小さくするほうが便利でしたし、行動が敏速にできる

ようにするためでした。戦争は激しさを増し、横浜市も空襲が激しくなりました。

一方、急な分区で施設が間に合いません。当初は桜木町一丁目にあった中区役所に間借りして仮庁舎で事務を取りました。8月に桜木町にあった日本モーター会社の建物に庁舎を移しました。区内の人口は111,490人、世帯数は24,680戸、面積はどの区より小さく5.038km²(昭和19年1月1日)でした。現在地に区役所が移転したのは昭和27年(1952年)11月18日です」

昭和19年、湯河原の集団疎開先の旅館での記念写真
(「いなりだい」稲荷台小学校創立80周年記念副読本より)



昔と今

神奈川県立横浜第一中学校 (現 神奈川県立希望ヶ丘高等学校)

藤棚町2丁目にある藤棚県営アパート(写真下)のところに現在の神奈川県立希望ヶ丘高



等学校の前身、神奈川県立横浜第一中学校(写真上)があって、当時は神中と呼ばれていました。

(F)



掃部山公園の紅葉



富士真奈美が藤棚に住んでいた？

中央図書館で11月2日から30日まで開かれた「西区制70周年記念 西区いま・むかし展」で紹介された「藤棚銀座30年誌」(昭和57年発行)の中に俳優の富士真奈美の寄稿がありました。

それによると高校を出て間もないころ新米女優としてスタートした富士真奈美は、お金も、住むところもなく転がり込んだところが、従兄が住む藤棚県営アパート10号館でした。時々共演していた声優の大山のぶ代を連れて近くの銭湯に出かけ、ゆっくり浸かった柚子湯に心まで温まったことが忘れられないそうです。休みの日は藤棚商店街にも出かけて楽しみ、「藤棚町はまさに私の青春の入り口地点であった」と結んでいます。(F)



こんにちは、ぐるーぷ！

花の輪 (フラワーアレンジメント)



右端が小泉さん

サークル名のとおり、花を通じてにぎやかな会話がやさしくて面白い輪を作ります。この日は4名の参加でしたが、講師の小泉恵美子さんが用意してくれた花をそれぞれ工夫しながら楽しそうに取り組みます。ピンク色のケイトウ、白の金魚草、紫色のリューコリーネ、オレンジ色のカーネーションを切り取りながら形を整えていきます。古流の準師範である小泉さんは「色がきれいでしょ」「格好良くない?」と、生徒さんの意向を聞きながら、共に作り上げていきます。

小泉さんは「終戦の翌年に亡くなった母が毎日のように花を活けていたのを見て」いたことがお花を始めるきっかけになったそうです。そして娘さんがお嫁に行くときには手作りのブーケを持たせたい気持ちもありました。

お話を聞いているうちにアレンジメントが完成しました。知人が紫色の紙ひもで編んでくれたというバスケットにバランス良く入っています。テーブルに置かれた花のまわりがとても華やかで見えました。

問い合わせ：小泉さん 241-5393 第一、第三木曜日戸部コミ八、第二火曜日西前コミ八(F)

男同士、当事者同士、介護のことを話しませんか？

在宅男性介護者の集い



藤棚地域ケアプラザ副所長 井口雅俊

藤棚地域ケアプラザでは、3年前から“在宅男性介護者の集い”を実施しています。きっかけは、男性職員の「男性介護者の話せる場所が必要なのではないか?」という一言からでした。それから西区在宅介護者のつどい「あけぼの会」の方々の協力を得て、今日に至ります。

在宅男性介護者の集いは、介護を担っている男性の「語り」の場、「つながりの場」です。誰かに相談したいこと、聞いてほしいこと、困ったこと・・・何でも気軽に話してみませんか?おいしいお茶を飲みながら、介護の体験を分かち合える仲間・友だちができる場所です。

次回は、来年2月8日(日)13:30~15:00、藤棚地域ケアプラザ 多目的ホールにて(参加無料)。お問合せは、045-253-0661 井口、柏木まで。



11月3日



若いおかあさんは、「私は神輿が大好き、血が騒ぐ、自分で担ぎたいくらい」

神輿の下をくぐって、「健康で育ちますように！」



稲荷台小学校
コミュニティハウス文化祭
11月15日～16日



スコティッシュダンス



似顔絵教室
と
俳句教室

Eメール: fujidananp@m.jcnet.jp
FAX: 045-895-0081

投句 当季雑詠で一人2句まで、氏名、連絡先を記載して。次回締切は一月二十日。巻頭句には粗品を進呈。

我が家の三姉妹、長女からは事ある毎に叩かれ、三女からはねだられる、心身共に強くなるのが次女。石路の花の凛々しさと照応する。

《寸評》

四姉妹次女はしまり屋石路の花
晩秋の山を促す滝の音
長き夜や写真整理に没頭す
柿落葉冬色となり横たわる
鮮魚店師走の魚は目を開く
バス停の鈴なりの柿渋柿なり
友きたる和菓子切りわけ菊日和

今吉正枝
忽那美智子
黒田ゆき系
後藤瑞枝
小野元夫
鹿沼久子
太田富子

藤棚俳壇 選者 三村凧彦

相続、貸地・借地権に特化した



街の専門家による無料相談実施中

平成27年1月1日からは相続税が増税

栄光神奈川鑑定

不動産鑑定士 田邊 勝也

横浜市西区中央1-35-5-9

TEL 045-534-9778

E-mail k-tanabe@kme.biglobe.ne.jp

http://www.tanabeatuyakantei.jp



第13回

西区

街の名人・達人まつり

2015年2月28日(土)

藤棚地区センター

10:00~15:30 入場無料

主催・お問合せ

にしく名・達の会



“藤棚新聞ではみなさまからの広告をお受けします。3000円/1コマ” 【発行】藤棚新聞

<http://www1.ttmy.ne.jp/fujidana/>

〒220-0053 横浜市西区久保町17-2

【TEL】090-9683-6099 【FAX】045-895-0081 【メール】fujidananp@m.jcnet.jp